



PRESS RELEASE

2019年5月31日
株式会社オギノ

オギノ、6月5日「環境の日」に 官民協働で富士山に150本の植栽活動を実施

マハトマ・ガンジー翁生誕150周年を記念して、インド大使館より寄贈

株式会社オギノ（所在地：山梨県甲府市、代表者：代表取締役社長 荻野 寛二、以下オギノという）は、国際連合が定める2019年6月5日（水）「環境の日」に、世界文化遺産に登録されている富士山を保全する為、公益財団法人オイスカ（国際協力NGO、本部：東京都杉並区、以下オイスカという）、インド大使館、山梨県、鳴沢村、甲運小学校と協働で、150本の植樹を行います。

この度、マハトマ・ガンジー翁生誕150周年を記念して、インド大使館より、オイスカを通じて「富士山の森づくり」活動に150本の苗木を寄贈されることになりました。インド大使館より大使代理として、首席公使ラジ・クマール・スリヴァスタヴァ氏を迎え、150本の植栽活動を実施します。又、道の駅なるさわ（所在地：山梨県南都留郡鳴沢村）にて各代表者による記念植樹と看板の設置も併せて行います。

「非暴力・不服従」の思想によりインドを独立に導いたマハトマ・ガンジーは、同時に環境保護についても先見性を持ち強く人々に訴えかけていました。「地球や大気、大地そして水といった自然資源は先祖からの遺産ではなく、未来の子どもたちからの貸与物である」等、同氏の環境哲学の志をインド政府が引き継ぎ、生誕150周年を記念し、150本の記念植樹を国交のある各国にて実施することを決定しました。

オイスカは、2007年より山梨県や複数の企業・団体と協働して「富士山の森づくり」を開始しました。山梨県と連携し、列状間伐を行った個所に、広葉樹約40,000本の植栽を行い、天然更新よりも早く、かつ生物多様に富んだ森林の再生ができるように取り組んでいます。活動開始から13年目を迎えた現在は、育林作業として、苗木のメンテナンスや除伐、モニタリング調査などを行いながら植えた木を守り育てる活動を行っています。

オギノは、山梨県、静岡県、長野県、神奈川県に食品、住居関連品、衣料品を扱う総合スーパーマーケット等計47店舗を展開しています。オギノは、地域密着型の小売業として、資源循環型の持続可能な社会、自然と共存できる社会を目指し、「美しい山梨を次世代に引き継ぎたい」という環境方針のもと、2007年より、山梨県荒川ダム周辺にて植栽活動を始めました。又、2013年にユネスコ（国際連合教育科学文化機関）より世界文化遺産に登録された富士山を保全する為、2014年より、



「富士山の森づくり」として、世界文化遺産の構成資産エリアで植栽活動を開始しました。いずれの活動とも、オイスカ、山梨県と協働で行ってきたもので、「富士山の森づくり」は、計5回実施しました。

オギノは、循環型の持続可能な社会を目指し、様々な環境活動を行っています。山梨県ノーレジ袋推進連絡協議会に参加し、来店するお客様にマイバッグの利用を促進しています。昨年1年間の食品関連売場でのマイバッグ持参率は、86.9%でした。レジ袋収益金額は、1,517,313円（レジ袋1枚5円で販売）で、この収益金額は「富士山の森づくり」に活用しています。さらに、店頭でペットボトル、トレー、缶、瓶、古紙などのリサイクルボックスを設置し、リサイクル活動にも注力しています。オギノは、今後も地域社会を支える小売業として、環境に配慮した活動を継続的にを行います。

以上

【植栽活動概要】

日時： 2019年6月5日（水） 10:30～
場所： 富士山2～3合目付近
（山梨県南都留郡鳴沢村字富士山8545-1 標高1,600m付近）
活動内容： 記念セレモニー、植栽活動（イロハモミジ、ヤマザクラ、ミズナラ）
参加者： オギノ 代表取締役社長 荻野 寛二
（予定） オイスカ 顧問 中野 利弘氏
オイスカ 山梨県支部会長 金丸 信吾氏
インド大使館 首席公使 ラジ・クマール・スリヴァスタヴァ氏
山梨県 森林環境部林務長 島田 欣也氏
甲運小学校3年生児童、オギノ従業員等総勢約130名

【記念植樹概要】

日時： 2019年6月5日（水） 15時頃～
場所： 道の駅なるさわ（山梨県南都留郡鳴沢村8532-63）
活動内容： 記念植樹（ソメイヨシノ）と看板設置
参加者： オギノ 代表取締役社長 荻野 寛二
（予定） オイスカ 顧問 中野 利弘氏
オイスカ 山梨県支部会長 金丸 信吾氏
インド大使館 首席公使 ラジ・クマール・スリヴァスタヴァ氏
鳴沢村 副村長 渡辺 昭訓氏